

1997年(平成9年)

11 28

第17732号 金曜日

(社)日経工業(株) (昭和65年8月17日第3種郵便物認可)



日刊工業新聞

Business & Technology

☆(14)

天然鉱石で完全濾過

隈井濾過機エンジン

濃度5000分の1に抑制

ダイオキシン

隈井濾過機エンジニアリング(京都府久世郡久御山町市田珠城26、隈井邦弘社長、0774・44・9888)は特殊な天然鉱石でダイオキシンなどの有害物質をほぼ完全に濾過することに成功した。中国山地から採取した多孔質の天然鉱石で、陽と陰の両極イオンを持つ一畚の無数の穴がダイオキシンなどを含む粉塵をとらえる。実験ではダイオキシン濃度を約五千分の1に抑えられたという。近くロビン焼却場に湿式濾過

式の実証プラントをつくるが、改造費も電気集塵機が「約三分の一で済む」(隈井社長)という。

性能実験は一〜二ミリの粒状にした鉱石を詰めた長さ三十センチ、直径五センチの筒に、高濃度のダイオキシンを含んだ水を三回、繰り返し通した。

試験結果を分析したユニチカ環境技術センター(京都府宇治市)によると、ダイオキシン類の濃度が一当たりに十八ナ(ナは十億分の一)だった原水が、十二月に施行される排出基準(新設炉に適用)の〇・一ナを越えるかに下回る同〇・〇三三ナになった。

上水道の濾過機メーカーの同社は、複数の濾過機で構成するダイオキシン排出規制に対応した処理システムとして実用化する計画。ダイオキシン除去装置として特許を出願しており、兵庫県と九州の二カ所で実証を始める。

システムでは排ガスを水に溶かして濾過する作業を繰り返し、無害化したガスを大気中に排出する。鉱石は洗浄して繰り返し利用できる。

機械・メカトロニクス